

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年 3月 22日

事業所名:ピアチューレ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	広さは十分である。	子どもが動いても問題ない広さがあると思います。 学習時には、楽器があるのが気になる。	学習をメインにする時間、音楽をメインにする時間に分け、利用者を受け入れる等の工夫を検討。
	2 職員の適切な配置	基準配置をしている。	いつも音楽を教えてください先生が2人いて安心です。	もう1名配置し、子ども達へきめ細かい対応をしていく予定。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚支援(絵カードによる説明)を行っている。	靴を脱ぐ位置がわかりづらい。	絵カードを脱ぐ位置(足元)に表示し、改善しました。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃を実施。クラス入れ替えの際、机等の消毒を実施。	トイレでスリッパをはき替えるのが面倒。	ビルのオーナーとの協議が必要なので、今後の改善点として、検討してまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日、療育開始前に打ち合わせを実施。		定期的なケース会議を行っていく予定。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	開所したばかりで、実施していない。		関係機関の方をお招きし、アドバイスを受けていくために、研修会等へスタッフが参加していく必要がある。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の研修を年間予定としている。		予定に従い、実施。また、その資料を全スタッフがみれるよう、ファイリングをする。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用開始時(契約時)に保護者面談により主訴をお聞きし、また利用者をアセスメントし、作成している。	契約の時に、子どもの発達について詳しく聞かれて面倒だと思った。	母子手帳をお持ちいただき、スムーズな発達の聴きとりができるようシートを作成し対応することになった。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	発達状況を見て、クラス編成を実施。	個別とグループの違いがどうしてあるのかわからない。	個別か グループかの決定について、保護者への説明が不足していた。今後は、児童発達管理責任者が説明をきちんと行うことに決定。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	本人中心支援計画書のFORMを使用し、作成している。	支援計画書が項目に分かれていて、わかりやすかった。	今後も保護者にわかりやすい言葉での支援計画書を作成していきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	利用者の療育の前に、支援計画書をスタッフが読み合わせし、療育目標を共有している。	まだ、利用が始まったばかりでわからない。	支援計画書のスタッフ間共有を必ず実施していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	クラス編成等、ミーティングで決定している。		今後も、全スタッフでのミーティングを実施。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇時に、地域活動への参加を検討している。	子どもが好きな曲、興味のある楽器を使用させてもらっている。 外部コンサートの参加をし、大変楽しめました。	地域交流や異世代交流などもプログラムに入れていく計画を検討。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者の状況を見て、随時、工夫をしている。		新しい曲等へ対応できるよう、スタッフの研修時間の確保をする。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	療育開始前、ミーティングを実施している。		引き続き実施する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	時間のある時だけ実施している。		基本は実施。しかし、時間の都合でできない場合には、次回利用の前に必ず情報を共有できるよう児発管が日報より情報を共有できるようにしておく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報の記載の標準化を実施している。		引き続き実施する。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	事業開始より間もないため、実施していない。		年2回の計画評価、新しい計画を決めているが、必要に応じて都度実施する。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	まだ実施していない。		要請がある場合には、児童発達管理責任者が担当する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、必要な児童がいません。		必要に応じて、検討していく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、必要な児童がいません。		必要に応じて、検討していく。

関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	まだ実施していない。		必要に応じて、検討していく。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ実施していない。		必要に応じて、検討していく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	まだ参加できていない。		新しい追加児童指導員の配置ができ次第、参加していく方向で検討中。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域イベントの参加を検討中。	コンサートやライブに、兄弟や友達を連れていきたい。	5月12日、8月12日にイベントをすることに決定した。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ライブやコンサート実施の際、チラシ等を配布している。	チラシをもらっています。	引き続き実施していく。	
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に実施している。	説明を受けました。	引き続き実施していく。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	初回利用時にアセスメントを行い、2回目利用時に計画書をお渡ししている。	説明を受けました。	引き続き実施していく。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	まだ実施していない。	ありません。	今後、保護者への情報提供の場を実施したいと検討中。	
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用時に、スタッフが保護者への声かけを意識している。	A先生から、今日のレッスン内容について丁寧なお話をきいています。	引き続き実施していく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	まだ実施していない。	「何かあったら、いつでも相談してくださいね」と声をかけてもらった。	必要に応じて、いつでも対応できるようにする。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会の立ち上げは検討していない。	わからない。	保護者の情報交換の場は、お茶会として月1回開催する。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口の一本化している。	回答なし	対応スタッフが不在の場合の対応マニュアルを作成することで検討する。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	手話・筆談・わかりやすい文章・わかりやすい言葉でのコミュニケーションにつとめている。	回答なし	引き続き実施していく。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	2019年4月より、通信を毎月発行する予定。	ホームページやWEBでの確認ができるようにしてほしい。	ホームページを開設しました。内容についてはまだ不十分。早急に対応します。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについて、スタッフへの研修を実施した。	わからない。	引き続き実施していく。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に、お手紙にて保護者へ配布している。	契約の際に、文章をいただいています。	引き続き実施していく。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練を計画している。	わからない。	計画通り、実施していく。
		3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待に対するスタッフへの研修を実施した。		引き続き実施していく。
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要な児童がいない。		基本的には身体拘束は実施しないが、必要が生じた場合、保護者とまずはお話しをすることとする。	
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	必要な児童がいない。		必要に応じて実施する。	
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書の整備はしている。また、スタッフへの研修を実施した。		引き続き実施していく。	